

オンラインカンファレンスを企画・運営して

菊地 清勝（教育実践コース）

始まりは、3月7日開催予定のフォーラム中止の連絡からであった。筆者自身は学校におけるICT活用に関する研究を進めていることもあり、課題研究における研究上のやりとりを常時 Slack¹を用いて担当教員と行い、時折 Zoom²を使用して対面コミュニケーションを取っていた。こうした経緯と自身の研究上の関心から、担当教員に次のようなアイデアを話した。「なるほど。M1は来年もあるのですが、M2の方々には2年間の研究の集大成をアウトプットする場が失われたというのは非常に残念ですね。特にストレートマスターは来年は新採用で忙しい日々を過ごすことになるでしょうから。なかなかアウトプットとはいかないと思いますので、Slackに研究発表ポスターをアップしてそれに参加者同士コメントを付け合うセッションを開催するというのはどうでしょうかね？直接やりとりしたい人はZoomも連動させるといいかも。まあ菊地の妄想だと思ってください。」

結論としては、ほぼこの通りのことが実現した。上記の会話にもあったようにアイデアの一つとして提案したことが実現可能であったのは、本年度から大学院のいくつかの授業の中で、ICTの積極的な活用が開始されたことが大きな要因の一つと考える。例えばSlackが活用できないかと思ったのは、II期の合同カンファレンスの企画・運営をM1が行った際に、使い慣れた筆者が中心となって使用方法の研修を行い、実際にM1院生・教員が使ってみたという経緯があったからである。それと平行して、他のいくつかの授業でも活用したことで、M1の院生に対してSlackの使用法の説明等は必要ないと考えた。

Zoomの使用法を考えた理由は、せっかく作成したポスターをアウトプットしないままではもったいないと思ったからである。

こうしたアイデアについてICTを日頃から活用して教育研究を進め、私の課題研究にも協力してくれていたM2の五十嵐健太さんが、賛同してくれて、話は一気に進んだ。ここでも日頃から使い慣れたSlackを使用して事前に準備することは何か、具体的な計画を作っていた。参加意思の確認にはGoogleフォーム³、ポスターのアップにはGoogleドライブ⁴を活用することとした。オンラインカンファレンスの目的と実施イメージを作成して、大学院教員にも示し、私と五十嵐さんを発起人とする院生企画のカンファレンスとして開催したい旨を伝えた。

大学院の教員の賛同も得たところで、院生・教職員全員に対してメール連絡で案内を出して、M1、教員には私から、M2には五十嵐さんからメール、LINE等でさらに詳しく案内をした。ポスターをGoogleドライブにアップする作業は初心者には困難であることが予想されたため、全体にアナウンスする前に、M1の院生数名に協力してもらい、動作確認を行った。その時に実際に起きたトラブルに対しての対処法を、オンラインカンファレンス運営側で共有して備えた。その上でアナウンスにはヘルプデスクを請け負うことを明記した。

当日のオンラインカンファレンスでZoomを使用した際、参加者が一斉に画面に映り、話を始めた時には、これも新たなコミュニケーションの一つなのだなど実感した。

挨拶等を済ませ、各自のブレイクアウ

トルームでオンラインカンファレンスが
始まった。Zoom で会話の様子を録画できる
機能を使った。同時に Zoom のチャット
機能、Slack を使って、文字での記録
も行った。当日は、様々個人の状況に応
じて、Zoom の入退出は自由にしてあつた
が、Slack で文字記録を取ったり、やり
取りをしたりするメリットは、会話を遡
って見ることができるということである。
また、当日オンラインカンファレンスに
参加できなかった人もある程度の様子を
つかむことができることである。

ICT 活用について、現在最先端は学校
になく、家庭や社会の中に強く感じてい
る。たがって我々教育に携わる者はそれ
を理解して、だからこそできないではな
く、まずはやってみることを大切にしてい
きたい。ICT 活用については、こうで
きたらいいなと思うことはほとんど実現
可能である。勇気を出して使ってみる、
苦手だからといって敬遠せず、積極的に
関わることで自然と Try&Error が行われ、
スキルが身に付く。こうした試みを院生
も教員もできるだけ自由に行える環境整
備を教職大学院が率先して行うことが大
切であると感じた。教職大学院を修了し
て、現場に戻ったときに、ICT 活用がで
きないではちょっと悲しいなと今回のオ
ンラインカンファレンスを発案、企画、
運営して感じた。

結論からいくと、オンラインカンファレ
ンスは、とても楽しく、充実した時間で、
学びの多い試みだったと言える。次があ
るなら、これをオンラインで同時配信す
るなどはどうか、Zoom のホワイトボード
機能を使うとどうなるかといったことを
考えている。

1 ビジネス上のやり取りをメールではなく、
チャットで行えるコミュニケーションツールの
一種。

2 パソコンやスマートフォンを使って、セミ
ナーやミーティングといった会議等をオンラ
イン上で Web 会議や Web 電話といった形で
開催するために開発されたアプリ。

3 Google フォームは、Google が提供する無
料のアンケート作成&集計ツール。

4 Google ドライブは Google 提供しているネ
ット上の保存場所のこと。